

第16回全国高等学校選抜アイスホッケー大会に関連した新型コロナウイルス感染者情報 (8月11日(水)正午現在)

【経緯】

本年8月4日から8日まで苫小牧市において開催された第16回全国高等学校選抜アイスホッケー大会において、道外からの参加校で新型コロナウイルスの感染がわかり、その後、他の参加校においても発熱症状やPCR検査で陽性反応を示す選手が出たことなどから、8月10日、苫小牧保健所の指示により、本大会に参加した全チームのスタッフ及び選手全員のPCR検査を実施することになりました。

本校においては、大会前日の8月3日(火)に苫小牧に入り、8日(日)まで現地に滞在しておりました。この間、大会開催要項にもとづき、大会の2週間前から全選手及びスタッフの健康チェックを行い、異常は見られませんでした。

また、大会期間中の試合前の検温チェックにおいても異常は見られませんでした。

大会終了後、全部員33名中、引き続きU-20及びU-18の日本代表選考合宿に参加するため苫小牧市に残った6名を除き、選手23名、スタッフ3名、バス運転手1名で、8月8日(日)に帰帯いたしました。

なお、4名の部員については、8月7日(土)に保護者の車で会場入りし、観客席でビデオ撮影等を行うなど別行動をとっていたものです。また、スタッフ1名は8月7日に合流いたしました。

【検査状況】

日本代表選考合宿参加者については、2日に1回のPCR検査が行われており、8月6日(金)の検査では全員陰性でしたが、8月8日(日)に行われた検査において、翌8月9日(月)1名にPCR検査陽性反応が出たほか、1名に38℃台の発熱症状が見られたため、8月10日(火)に、この両名に対し、PCR再検査を実施することになりました。

一方、帰帯した選手の中においても、9日に38℃台の発熱症状を訴えた者が4名出たため、帯広保健所に状況を説明し、10日中に病院を調整していただきPCR検査を行うことになりました。

その後、帰帯した選手2名にも38℃台の発熱症状が現れたため、追加でPCR検査を実施することになりました。(1名は8月10日、1名は11日)

8月10日現在、発熱等の症状がない部員21名及び大会に参加したスタッフ4名、バス運転手1名については、8月11日(水)順次PCR検査を行う予定です。

【検査結果】

PCR検査結果(8月11日(水)正午現在)

日本代表選考合宿参加者 6名中3名の陽性

帰帯した選手のうち8月10日にPCR検査を受けた者 5名全員の陽性反応

PCR検査の結果待ち(選手・スタッフ・バス運転手未受験者含む) 27名

【療養状況】

日本代表選考合宿参加者のうち陽性者3名については宿泊療養施設調整中。

PCR検査陰性の3名については、自宅に帰り待機。

帰帯した選手のうち陽性者5名については、自宅もしくは宿泊療養施設調整中。